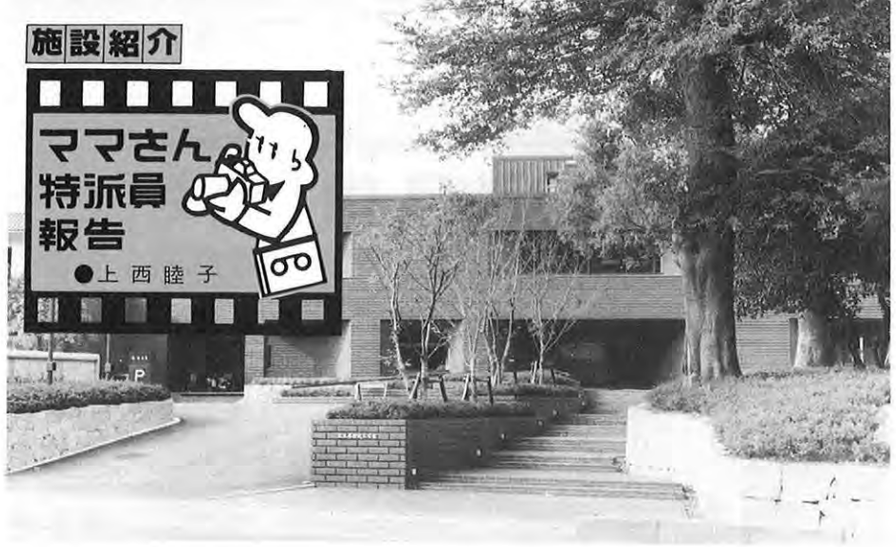
施設紹介



今回から一般公募したママさん特派員に県政レポーターとして、施設紹介や県政一般に関する記事を書いていただきます。

県伝統工芸館

「又、クマモトをぶらさげて行くの？」と、口の悪い息子がからかう。いつの頃からか、旅行する時は肥後象がんのペンダントをつけて行く習慣になっているからである。今年も東北本線の車中で隣の若いお嬢さんから、「昔の武士を連想するような、それでいて洋服にもマッチしますね。」といわれ、渋いと思っていたペンダントも結構、若い人にも好まれるのだなあと嬉しくなる。

県外の方々から、よく熊本県の工芸品のことを聞かれ、肥後象がん・小代焼・きじ馬・山鹿灯篭など一通り紹介はするものの、限られた知識では、満足のいく説明もできず、それとなく熊本城や、阿蘇山の話題へとすりかえてお茶を濁すというありさま、なんとも情ない話である。

「だって、どんな風に作られるか見たこともないし、第一、昔からの工芸品が現在どの位、生産されているのか、わからないのだから仕方がないわ。」と独白。

それが、この八月に県伝統工芸館がオープンして、熊本県下の伝統技術を生かした生活工芸品が見られるというので、勇んで足を運んでみた。

なんと、展示品が千八百点も

街中の雑踏を通り抜け、市役所前の厩橋を渡って間もなく茶色の二階建の工芸館が見えてきた。期待と不安の入り交じった複雑な心境である。現代のような機械化による大量生産の時代に、昔ながらの手作りの品が果してどれ程、生き残っているのだろうか。こんなに立派な建物の中にもし、展示品が、パラパラとしか置かれていないとしたら、何んともわびしいからである。しかし、私の心配はたちまちのうちに消え去り、嬉しさを通り越して、胸にじーんと迫るものがあった。二階の常設展示室には、なんと千八百余点もの工芸品が展示されていたのである。包丁・鎌などの刃物類、茶碗などの焼物、桶・机・盆などの木工品から竹細工、肥後象がん、きじ馬などの玩具類、山鹿灯籠……など。これでは、とても一・二時間では、見終るものではない。

一階のインフォメーションコーナーでは、県内の伝統工芸品についての情報を提供したり、作品の即売もされている。又、企画展示室もあり、ここでは、現代工芸は勿論、全国の工芸品の展示と即売もされているとのこと。今後、どのような企画がされるか楽しみである。横の工房では包丁の研ぎ方も指導されるということである。

地下は、会議室・和室を含め、土地の起伏を上手に利用したユニークな設計に思わず、「うーん！」と感嘆。これらをうまく使いこなしたお茶会・お花の展示会が、企画、催されているとか、素晴しいことである。

工芸館の伊藤さんのご案内で館内を一巡して、一階ロビー横の休憩喫茶室で一息入れた。ここは、来館者が自由に自分の好きな茶碗でお茶をのむことができるという、なかなか粋なコーナーである。

ぬくもりのある手作りの品

小代焼の茶碗でお茶を飲みながら、暖かいものが、胸の中に徐々に拡がるような満足感をおぼえる。「手作りが何んといっても最高よ！」とよく友達がいう。あらゆるものが、科学的、機械的になればなるほどかえって人々は、素朴ながらもそれを作った人の心のぬくもりが感じられる手作り品についつい安らぎをおぼえ、心が動かされる。

現在、後継者のこと、消えかかる伝統工芸品を産業としてどのように育てるかなど難しい問題をかかえているが、豊かなふるさとづくりをめざして、伝統工芸館の果たす役割は大きく、これからの活動に期待したい。それとともに一人でも多くの県民の皆様が来館されてわが郷土熊本の素晴しい伝統工芸品を自分の目で見て、触れて知って頂きたい。

「娘を嫁がせる時、ここに来て何点かは求めよう！」と楽しい夢をえがきながら工芸館を後にした。

工芸館の伊藤さんから説明を受ける上西さん

1,800点余りの工芸品が展示してある常設展示室

●利用案内

開館時間　午前9時30分から午後5時まで

休館日　月曜日・12月25日から翌年1月4日まで

入館料　（常設展示室）

	個人	団体(20人以上)
一般	100円	70円
大・高生	70円	50円
中・小生	50円	30円

所在地／熊本市千葉城町3番35号
電話 0963－24－4930

施設使用料

使用場所＼使用時間	午前 9時～12時	午後 13時～17時	一日 9時～17時
企画展示室 (182.5m²)			7,300円
地下会議室 70名 (133.93m²)	2,300円	3,500円	6,000円
二階会議室 25名 (93.49m²)	1,800円	2,500円	4,300円
和室(2畳台目茶室を含む) (129.03m²)			2,600円

● 使用時間には、準備、後始末などに要する時間を含んでいますので、この点を充分考慮にいれて計画してください。
● 使用後は原状に復して、係員の点検を受けてください。